

# 令和5年度下期第二種電気工事士受験報告

共通機器部門 情報基盤機器管理班 松下 昌史

## 1.はじめに

ナノデバイス研究所において、半導体研究機器の維持管理として、約70台設置してあるロータリー真空ポンプの維持と管理を行っている。

業務依頼者から業務として必要なスキル・資格として、電気工事士の資格が求められており、依頼者の要望に応える事と、業務の幅を広げるために、当該試験を受験した。

## 2.試験日・場所

令和5年10月29日(日) 学科試験 広島工業大学専門学校

令和5年12月24日(日) 技能試験 同上

## 3.受験者等

学科試験：受験者数 6,361人 (CBT：8,980人/会場受験：54,631人)

合格者数 37,468人 合格率 58.9%

技能試験：未公開(2024.1.22現在)

## 4.試験内容

学科試験：1.電気に関する基礎理論・2.配電理論及び配線設計・3.電気機器、配線器具並びに電気工事用の材料及び工具・4.電気工事の施工方法・5.一般電気工作物等の検査方法・6.配線図・一般電気工作物等の保安に関する法令

技能試験：毎年1月に公表される候補問題(N0.1~No.13)から1問が出題され、持参した作業用工具を用い配線図で与えられた問題を支給された材料で時間内(40分)に完成させる。

## 5.まとめと感想

昨年の8月下旬にインターネットで申込を行い、約1ヵ月前より学科試験の学習を開始した。電気分野に関してゼロからスタートしたので、1冊のテキストを繰返して暗記に努めた。学習していて理解不足の部分は、YouTubeの関連動画を視聴する

等を行った。そのおかげもあって学科試験には合格した。

問題は技能試験対策であった。練習用の材料や試験用の工具をインターネットで注文して手に入れたが、忙しさもあって、中々手に就かず、時間を大幅にロスしてしまった。技能試験約1ヵ月前に、同僚の技術職員に相談した結果、ものづくりプラザの技術職員を中心に協力していただき、電気工事士資格を所持する原明慶技術員から毎週金曜日の午後に教えていただくことになった。

候補問題を、毎回数問実際に組み立てて講評を受ける内に、当初、時間がかかっていた組立作業が短縮され、正確に行えるようになった。試験前々日の夜遅くまで、練習をして本番に臨んだが、大人数の受験者と40分と制限された時間等で、今までにない緊張感が増し、制限時間内に完成させたものの、試験終了数分前に、ミスに気づいて修正しようと試みたが、時間がなかったので断念した。

恐らく技能試験は合格することが難しいと思うが、支援していただいた、ものづくりプラザ機械加工技術班の技術職員の皆様と、練習場所を貸してくださった電気製作室の技術職員の皆様、特に真摯に教えてくれた原明慶技術員には大変感謝しています。

令和6年上期第二種電気工事士技能試験に再チャレンジをして、協力していただいた技術職員皆様の恩に報いたいと思います。資格習得後、次年度以降になりますが、業務依頼者の要望に応えたサービスを提供していきたいと思っています。